

岩手県感染症週報

平成17年第31週（8月1日～8月7日）

岩手県結核・感染症情報センター

第31週の概要

1 類感染症

2 類感染症

・患者発生の報告はありませんでした。

3 類感染症

・前週に引き続き、腸管出血性大腸菌O26の感染による患者の報告が水沢、一関地区からそれぞれ3例ずつありました。一関保健所の調査によると、同地区の3例はいずれも前週報告のあった3例の患者が参加していた同じ地区行事（キャンプ）に参加しており、同保健所では、この行事の参加者及びその家族等に対し、手洗いの徹底、消毒方法などを指導するとともに引き続き調査を実施しています。

5 類感染症（定点把握対象疾患）

- ・ヘルパンギーナは、全体では減少傾向にありますが、久慈、二戸地区では患者が増加しており、両地区とも警報値（定点当たり患者数6.0人）を超えています。
- ・手足口病は、これまで患者数の多かった花巻、北上地区では、流行のピークを越えたものと思われませんが、大船渡、久慈地区では増加しており、この週には警報値（定点当たり患者数5.0人）を超えました。
- ・流行性角結膜炎は、水沢地区で患者が急増しており、今後の動向に注意が必要です。

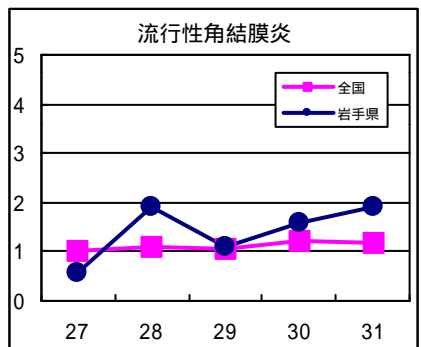
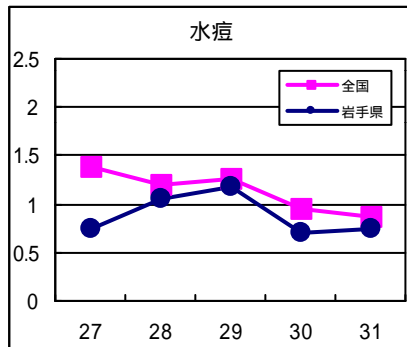
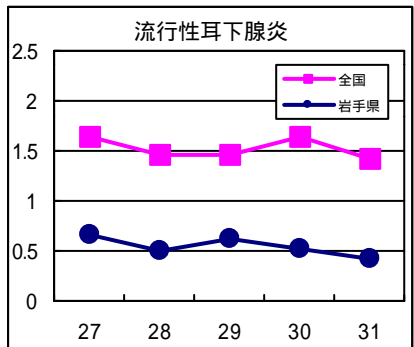
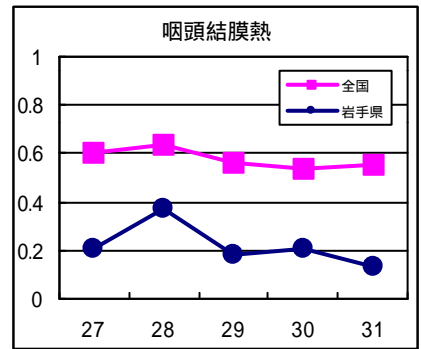
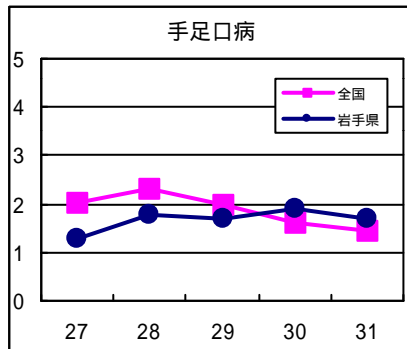
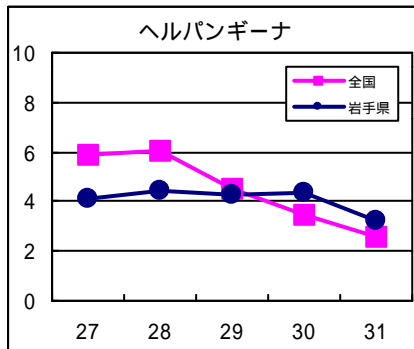
4 類感染症

5 類感染症（全数把握対象疾患）

・患者発生の報告はありませんでした。

最近の注目疾患（定点あたり患者数の過去5週の動き）

（疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意）



定点把握対象疾患（過去5週の動き）

（定点あたり患者数）

疾病名	地域	週					流行傾向	
		27	28	29	30	31		
インフルエンザ	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.15	0.18	0.17	0.12	0.07		
咽頭結膜熱	岩手県	0.21	0.37	0.18	0.21	0.13	↘	
	全国	0.6	0.64	0.56	0.54	0.55		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	岩手県	0.42	0.42	0.32	0.16	0.24	→	
	全国	1.16	1.06	0.74	0.68	0.57		
感染性胃腸炎	岩手県	2.21	2.71	1.87	2.03	1.47	→	
	全国	3.2	2.87	2.52	2.47	2.36		
水痘	岩手県	0.74	1.05	1.18	0.71	0.74	→	
	全国	1.38	1.2	1.26	0.96	0.86		
手足口病	岩手県	1.29	1.79	1.68	1.89	1.68	→	
	全国	2.01	2.3	1.98	1.63	1.43		
伝染性紅斑	岩手県	0.11	0.21	0.18	0.34	0.11	↘	
	全国	0.4	0.44	0.32	0.29	0.27		
突発性発疹	岩手県	0.58	0.45	0.45	0.55	0.53	→	
	全国	0.78	0.76	0.71	0.77	0.79		
百日咳	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01		
風疹	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.01	0.01	0.01	0		
ヘルパンギーナ	岩手県	4.13	4.45	4.26	4.32	3.24	↘	
	全国	5.85	6.04	4.51	3.46	2.6		
麻疹（成人麻疹を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.01	0	0.01	0.01		
流行性耳下腺炎	岩手県	0.66	0.5	0.61	0.53	0.42	→	
	全国	1.64	1.46	1.46	1.64	1.43		
急性出血性結膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.03	0.03	0.02	0.04		
流行性角結膜炎	岩手県	0.58	1.92	1.08	1.58	1.92	↗	
	全国	1	1.11	1.06	1.2	1.19		
RSウイルス感染症（患者報告数）	岩手県	4	0	0	0	0	→	
	全国	16	18	30				
細菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.02	0.01	0	0.01		
無菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.03	0.07	0.06	0.07	0.06		
マイコプラズマ肺炎	岩手県	0.35	0.25	0.15	0.1	0.2	↘	
	全国	0.23	0.27	0.3	0.23	0.19		
クラミジア肺炎（オウム病を除く）	岩手県	0	0	0	0.05	0	→	
	全国	0.01	0	0.01	0.01	0		
成人麻疹	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0	0	0	0	0		

【流行傾向の見方】

- 無印 : ほとんど患者が発生していません
- : 患者が発生しています
- ↘ : 警報値を超えた地区が1～2地区あります
- ↗ : 多くの地区で警報値を超えています

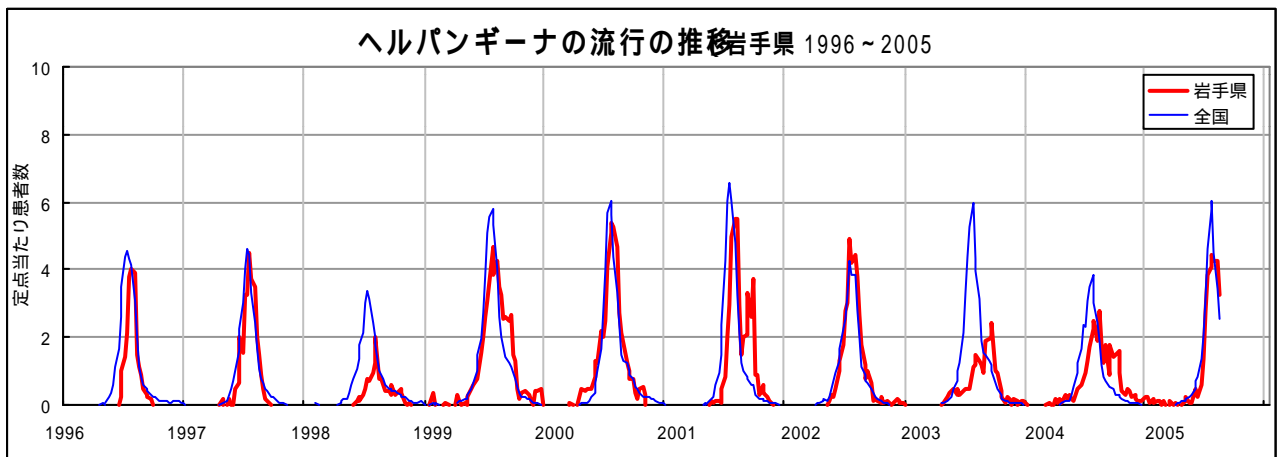
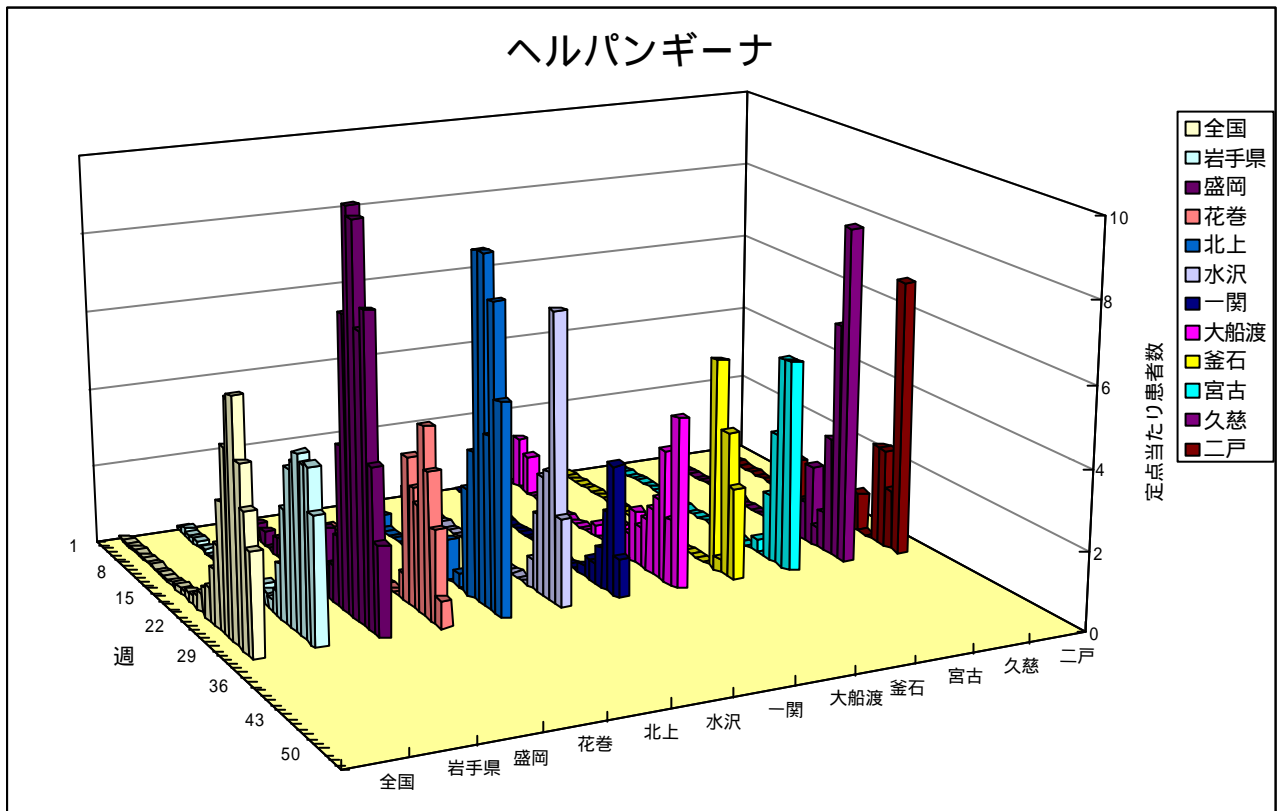
全数把握対象疾患（過去5週の動き）									（患者発生数）	
分類	疾病名	岩手県					全国			
		(週) 27	28	29	30	31	累計	31	累計	
一類 感染症	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0	
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
二類 感染症	コレラ	0	0	0	0	0	0	2	31	
	細菌性赤痢	0	0	0	1	0	1	7	333	
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	1	29	
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	0	8	
	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0	
三類	腸管出血性大腸菌感染症	1	6	0	5	6	25	137	1671	
四、 五類 感染症	アメーバ赤痢	0	0	0	0	0	2	3	404	
	エキノкокクス症	0	0	0	0	0	0	1	12	
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
	オウム病	0	0	1	0	0	1	1	25	
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
	急性ウイルス性肝炎	0	0	0	1	0	2	0	176	
	Q熱	0	0	0	0	0	0	0	8	
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0	
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	0	5	
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	0	3	3	82	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	0	1	0	35	
	後天性免疫不全症候群	0	0	0	0	0	2	6	681	
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	1	
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	1	41	
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
	髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	8	
	先天性風疹症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ツツガムシ病	0	0	0	0	0	4	1	101	
	デング熱	0	0	0	0	0	0	1	19	
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	4	25	
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
	乳児ボツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0	0	
	梅毒	0	0	0	0	0	1	3	305	
	破傷風	0	0	0	0	0	1	1	56	
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	43	
	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	
	Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	1	
	発疹チフス	0	0	0	0	0	0	0	0	
	マラリア	0	0	0	0	0	0	3	43	
	ライム病	0	0	0	0	0	0	2	3	
	レジオネラ症	0	0	0	0	0	0	8	124	
ウエストナイル熱	0	0	0	0	0	0	0	0		

昨年11月5日に感染症法が改正されたことに伴い、調査対象疾患が一部改正されましたが、本週報では当面の間、改正前の分類による情報をお届けしております。
できるだけ早い時期に、新しい分類による情報をお届けするよう準備していますので、ご了承ください。

今注目の感染症

ヘルパンギーナ

- ・ヘルパンギーナは、発熱と口腔粘膜にあらわれる水疱性発疹を特徴とし、夏季に流行する小児の急性ウイルス性咽頭炎であり、いわゆるこどもの夏かぜの代表的な疾患です。
- ・今シーズンは、盛岡地区で23週（6/6～12）頃から増加しはじめ、26週（6/27～7/3）に流行のピークを迎えたようです。現在、は二戸、久慈地区で患者数が多くなっています。
- ・患者の年齢層は5歳以下がほとんどで、1歳児がもっとも多くなっています。
- ・環境保健研究センターで行われた病原体検査で、コクサッキーA群ウイルス6型が分離検出されました。このウイルスは患者のせきなどの飛沫に含まれるほか、回復後も2～4週間の長期にわたり便とともに排泄され、感染源となります。



病原体検出情報

- ・この週に検出した病原体はありません。

医療機関からの情報

盛岡地区の医療機関（小児科）から

- ・夏休みで感染症の患者はかなり少なくなっている。

集団感染情報

腸管出血性大腸菌感染症（O26）の発生について

一関保健所管内の地区行事の参加者から、腸管出血性大腸菌感染症（O26）の患者5人、無症状保菌者1人が発生しました。患者の主症状は発熱、下痢で、いずれも軽症（軽快4人、入院1人）です。

1 地区等

一関市内の地区行事（キャンプ）参加者

2 患者の状況

7/28（木） 1人（8歳 男）

7/30（土） 2人（3歳 男）（30歳代 女：無症状保菌者）

8/ 3（水） 1人（6歳 男）

8/ 6（土） 2人（11歳 男）（12歳 男）

3 保健所の対応

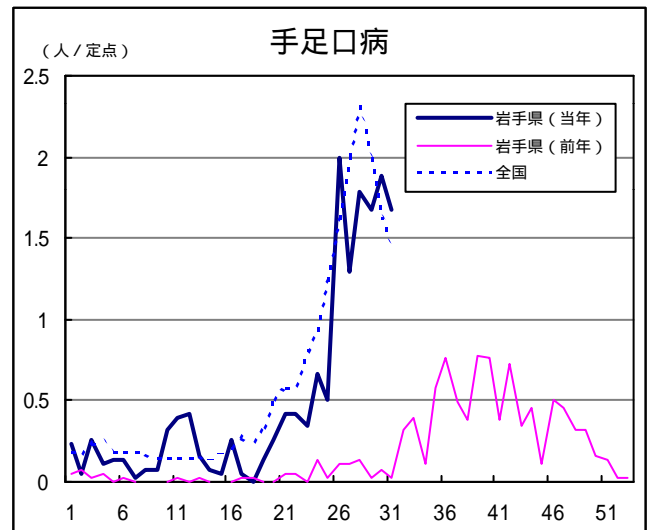
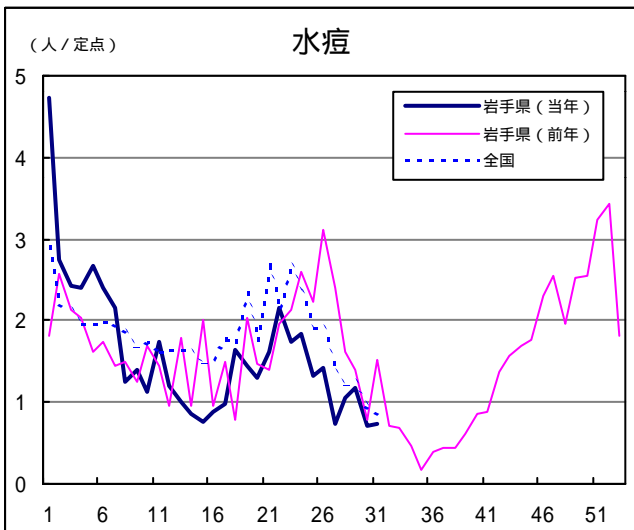
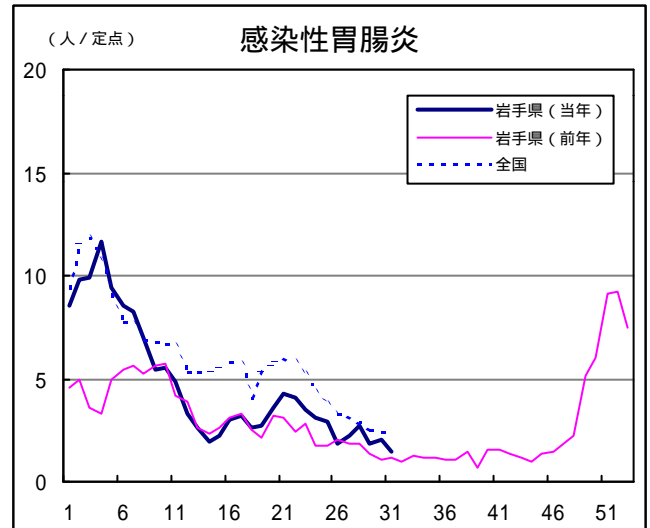
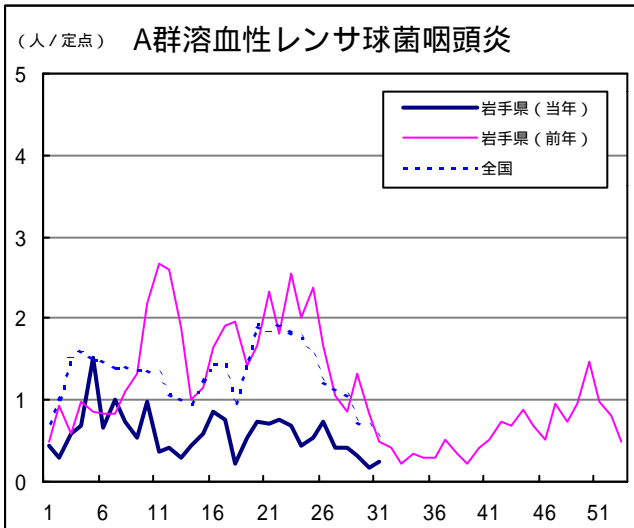
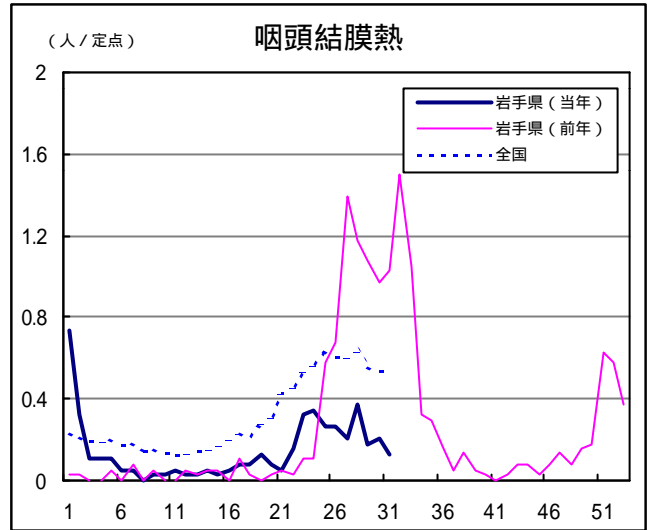
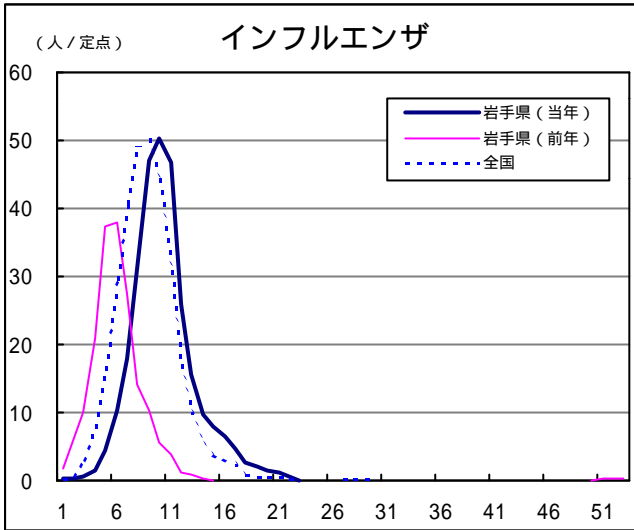
一関保健所では、キャンプ参加者及びその家族等に対し、手洗いの徹底、消毒方法を指導するとともに、更なる感染者の有無、感染経路の調査を継続実施中です。

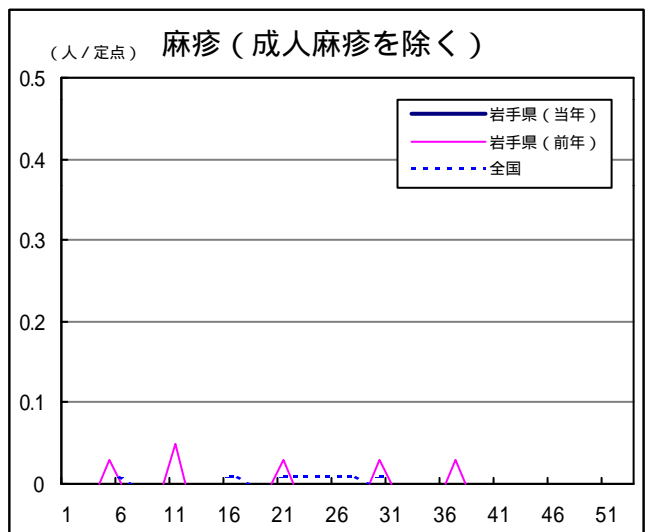
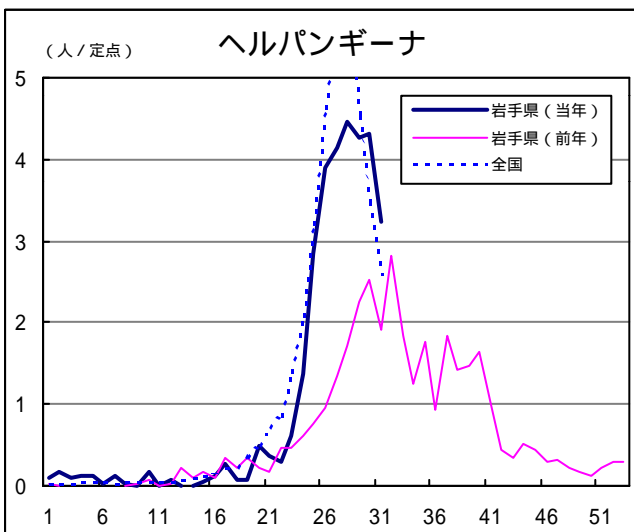
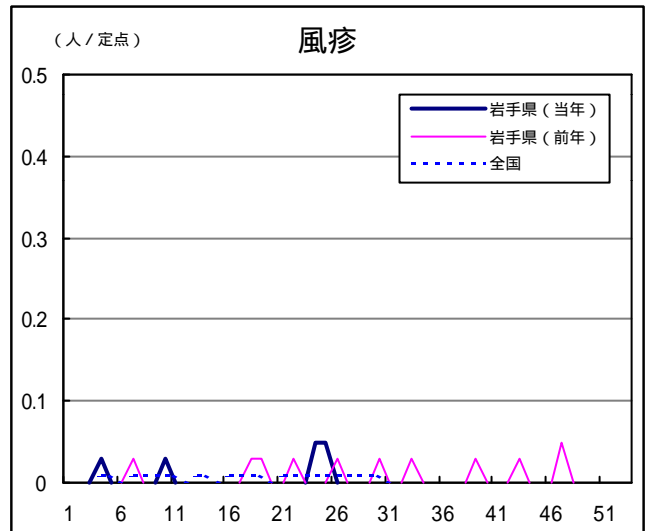
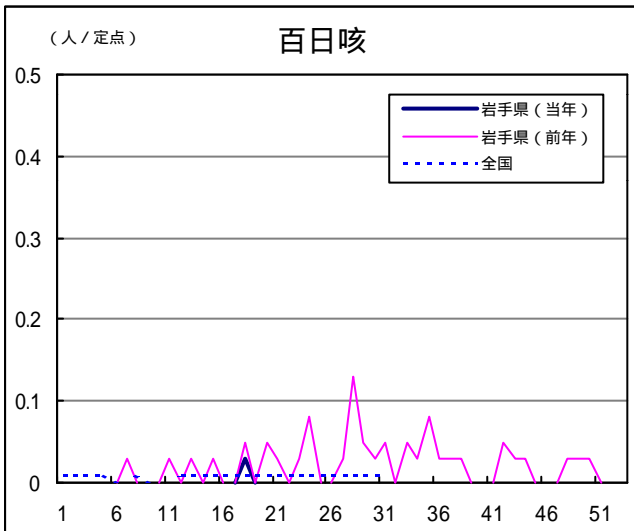
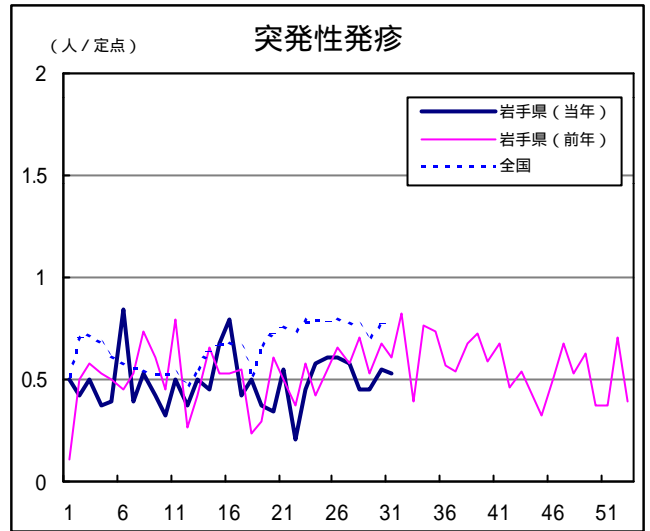
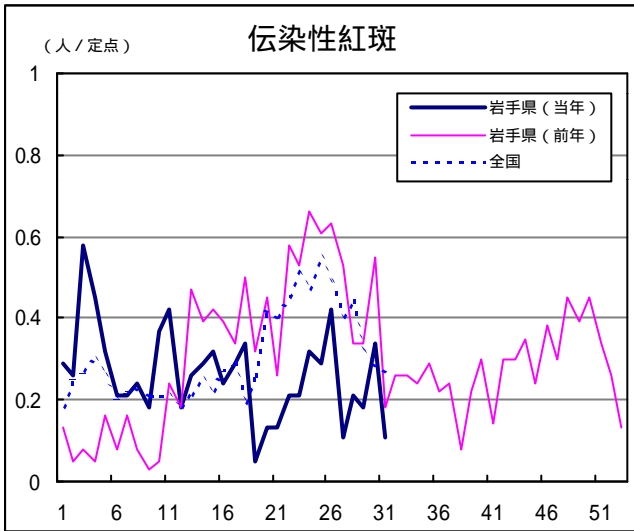
Q & A

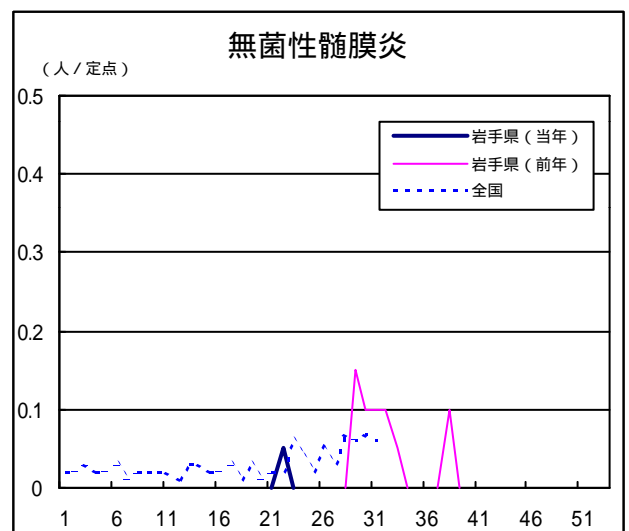
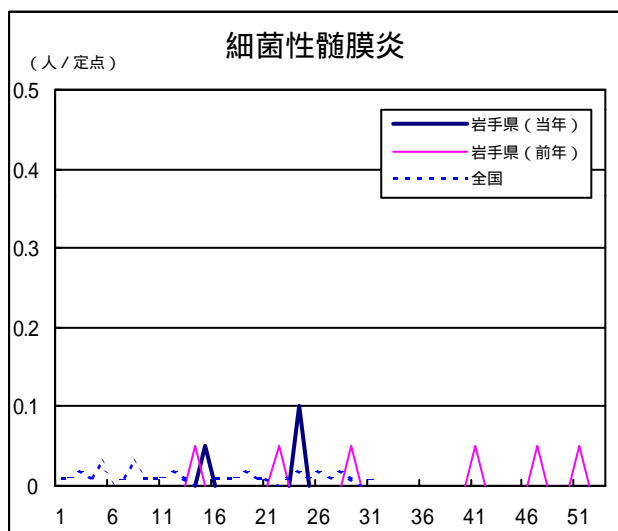
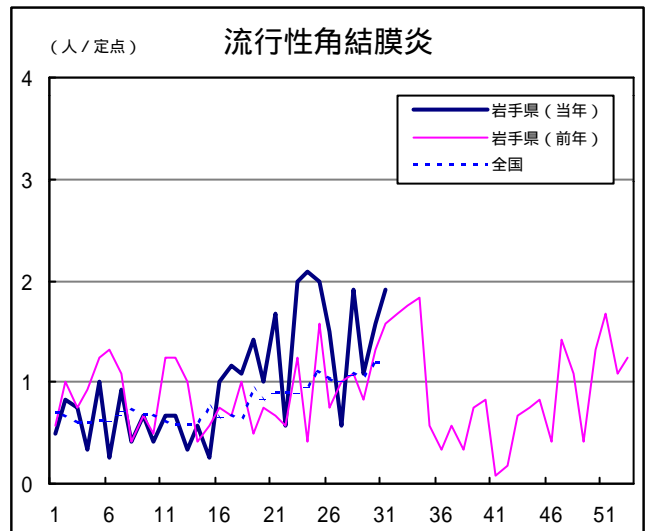
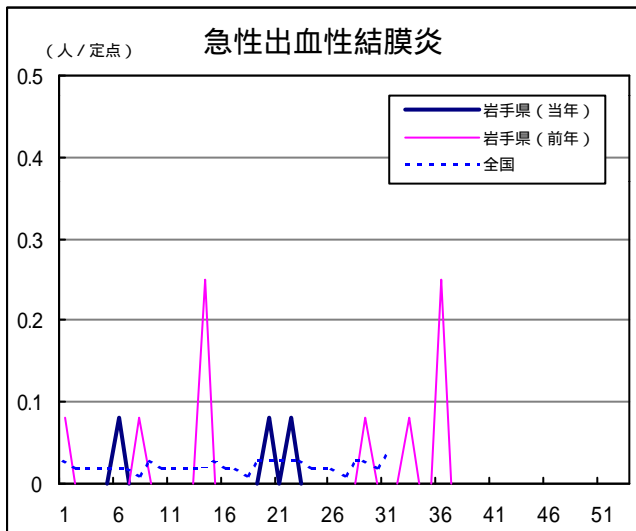
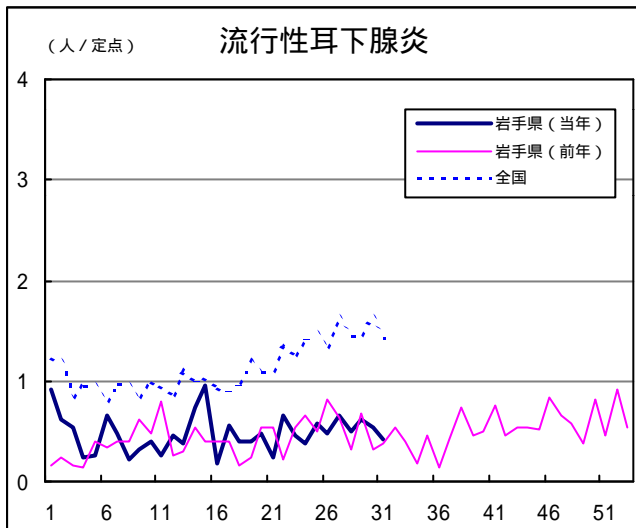
読者の皆様からのご質問にはこの欄でお答えします。

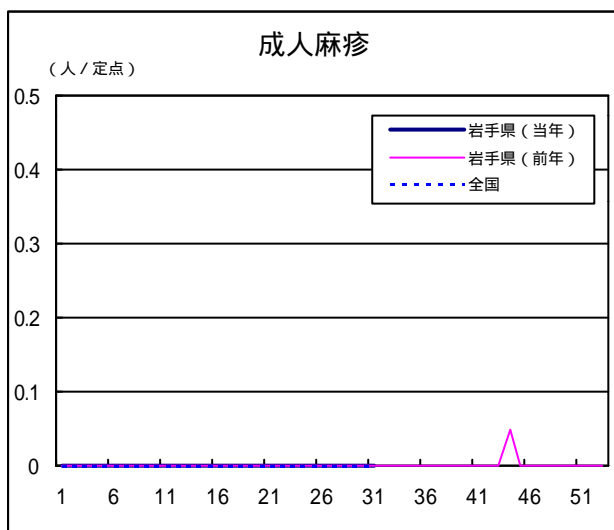
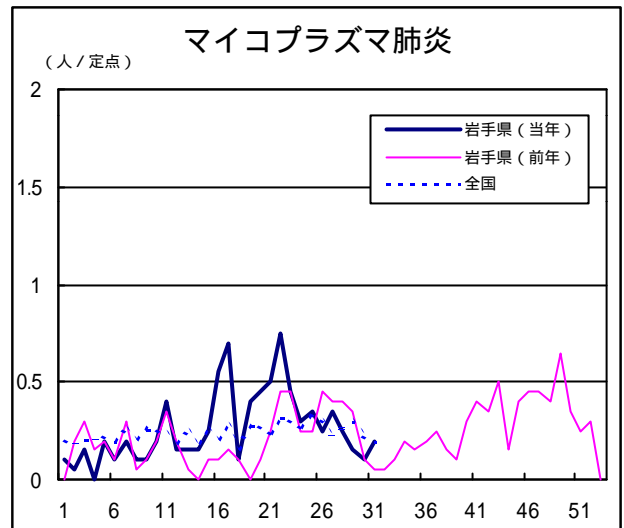
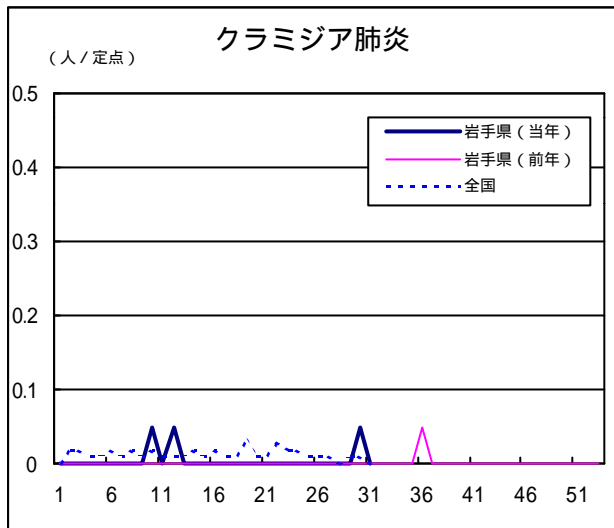
医療機関からの情報や読者の皆様からのご質問は下記の宛先までお寄せください。
岩手県結核・感染症情報センター（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）
〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1
TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667
E-mail:CC0019@pref.iwate.jp

疾病別グラフ（定点あたり患者数の推移）









定点医療機関の数

地区	インフルエンザ	小児科定点	眼科定点	基幹定点
岩手県	62	38	12	20
盛岡	17	11	3	5
花巻	5	3	1	2
北上	5	3	1	2
水沢	7	4	1	2
一関	7	4	1	2
大船渡	5	3	1	1
釜石	5	3	1	2
宮古	5	3	1	1
久慈	3	2	1	1
二戸	3	2	1	2

岩手の感染症情報を毎週メールでお届けする
「岩手県感染症情報ウィークリーマガジン」を配信しています。
 配信の登録は以下のURLからお願いします。
<http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/mailmagazine.html>

岩手県感染症週報 平成17年第31週 平成17年8月12日発行
 監修：岩手県結核・感染症発生動向調査委員会
 発行：岩手県環境保健研究センター
 岩手県保健福祉部保健衛生課
 事務局：岩手県結核・感染症情報センター
 (岩手県環境保健研究センター保健科学部内)
 〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1
 TEL:019-656-5669(直通) FAX:019-656-5667
 E-mail: CC0019@pref.iwate.jp
 URL: <http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/>
 <岩手県結核・感染症情報センター>
<http://www.pref.iwate.jp/~hp0360/>
 <岩手県保健福祉部保健衛生課>